

# まつえ 市議会だより

No. 43

2020  
2月定例会

MATSUE CITY COUNCIL NEWS LETTER



## 2月定例会

条例制定・改正、補正予算、議員提出案件 審査

P2

## 予算委員会報告

令和2年度当初予算などについて細かく審査

P4~5

## 常任委員会報告

各常任委員会で細かく審査

P3

## 2月定例会一般質問

19名の議員がコロナ対策、第2次総合戦略などを質問

P7~11

(シリーズ)

松江の元気な子どもたち⑫



「新しいお友だちを お迎えしました」

—白潟保育所—

白潟保育所では、この春、新しいお友だちが11名入所しました。入所式では、先生方や子ども達による歓迎の歌でお迎えしました。これから、みんなで元気一杯、楽しく遊ばしましょう。

(取材：三島委員長・新井副委員長)



# 2月定例会

令和2年2月26日～3月26日

## 新型コロナウイルス対策、第2次総合戦略 初年度の取り組みなど議論

今議会では、市長提出議案121件（内訳は表のとおり）を審議し、全て原案通り可決・同意（全会一致113件、賛成多数8件）しました。

また、議員提出案件3件、諮問1件を審議し、議員提出案件のうち1件を否決、それ以外は全て可

決しました。

一般質問では、19名の議員が新型コロナウイルス対策、第2次総合戦略、河川の浚渫、農業用ため池、日ノ丸バス撤退の代替運行等について執行部の考えを問いました。

### 令和2年度当初予算

一般会計予算総額は1,002億3,600万円（前年比0.0%増）となりました。特別会計は467億844万円（前年比0.9%増）、公営企業会計は413億4,275万円（前年比0.9%減）となりました。

### 令和元年度一般会計補正予算（主なもの）

新型コロナウイルス対策等、国の補正予算に呼応し、7億728万円の増（補正後総額1,032億8,392万円）となり、令和2年度当初予算と併せて執行されます。

### 条例の制定・改正（主なもの）

#### 松江市債権管理条例の制定

税の守秘義務に反しない限りで情報を共有し、債権管理の適正化を図るもの。

#### 松江市印鑑条例の一部改正

成年被後見人であっても所定の要件を満たした場合は、印鑑登録ができるようにするもの。

#### 松江市副市長定数条例の一部改正

副市長の定数を2人から3人以内に改めるもの。

#### 審議した議案等

市長提出案件	121件	
内 訳	条例案件	35件
	一般案件	50件
	予算案件	26件
	同意案件	10件
議員提出案件	3件	
その他案件	1件	
合計	125件	

### 議員提出案件の審査結果

件名	結果
議員提出議案 第1号 公立・公的病院の再編・統合計画に関する意見書について	原案可決（全会一致）
議員提出議案 第2号 新型コロナウイルス感染症対策に関する意見書について	原案可決（全会一致）
議員提出議案 第3号 消費税率を5%に引き下げをを求める意見書について	否決（賛成少数）

### 請願・陳情の審査結果

件名	提出者	結果
請願第2号 「再審法（刑事訴訟法の再審規定）」の改正を求める意見書の提出について	日本国民救援会島根県本部 会長 中尾光良	不採択
陳情第29号 島根原子力発電所事故時の避難の際、UPZ圏内に住む乳幼児及び妊産婦等がPAZ圏内の住民同様に被ばくしないで避難できる具体的な対策を求めることについて	島根原発3号機訴訟の会 共同代表 井口隆史	不採択

## 常任委員会報告〈主な審査内容（質問に対する市の答えを掲載しています。）〉

### 総務委員会…議案31件「原案可決」、請願1件「不採択」

(3/6、9、26開催)

#### 松江市債権管理条例の制定

- 債権を管理する複数の部署が重複する業務を行っていたり、十分に調査ができない場合があり、税の守秘義務に反しない限りで、情報の共有を行えるように制定する。中核市58市のうち41市で同様の債権管理条例を制定している。

#### 松江市国民健康保険条例の一部改正

- 低所得者に係る国民健康保険料の軽減措置の拡充をするもので、5割軽減や2割軽減が昨年に比べ115世帯増加するものである。

#### 松江市副市長定数条例の一部改正

- 未来につながる中心市街地のまちづくりを進めるため、今回、国土交通省からの知識や経験が必要として、3名体制にしたものである。

### 教育民生委員会…議案25件「原案可決」

(3/10、11開催)

#### 松江市介護給付費準備基金条例の一部改正

- 市が独自に実施する予防事業である。具体的な内容としては、※フレイル予防事業や通いの場の支援を充実するなど想定している。(※フレイル予防…加齢とともに心身の活力低下を予防すること)

#### 松江市動物の愛護及び管理に関する条例の一部改正

- 獣医師だけでなく1年以上の実務経験を有する職員にも業務を行っていただくことを想定している。中核市以上は動物愛護管理員を置くことが義務化された。

#### 指定管理者の指定（指定期間1年の理由）

- 精神障害者地域生活支援センターについては、相談機能の中核的役割を担う基幹相談支援センターの設置及び計画相談業務のあり方も併せて検討する必要があるため、今後、指定期間についても検討していきたい。

### 経済委員会…議案22件「原案可決」

(3/12、13、26開催)

#### 松江市農業振興地域整備計画審議会条例の制定

- 農業振興地域整備計画の策定及び変更について、調査・審議するため、公募を含め委員16名以内で構成する附属機関を設置する。

#### 松江市営駐車場条例の一部改正

- 松江城大手前駐車場及び城山西駐車場の時間貸駐車使用料を、7月1日より「1時間未満300円、1時間以上2時間未満500円、2時間以上30分ごとに100円増」に見直す。

#### 指定管理者の指定

- 忌部地区多目的運動広場、宍道農村環境改善センター、ゆうあい熊野館など15施設を非公募で1年から4年間、指定管理者を指定するもの。

### 建設環境委員会…議案17件「原案可決」

(3/13現地視察、3/16、17開催)

#### 松江市開発行為等の許可の基準に関する条例の一部改正

- 土地利用の規制緩和は、規制緩和により人口を集中させるという考え方によるものではない。集落維持の観点から平成30年3月に作成した都市マスタープランの土地利用方針に沿い、生活の拠点と定めた小中学校や駅の周辺について土地利用を緩和し、非自己用の分譲住宅等の建築を許容するものである。

#### 松江市景観条例及び松江市屋外広告物条例の一部改正

- 景観計画重点区域に指定されることで建築物の高さ制限などを受けようになり、良好な景観形成が行える。また伝統的な外観の修景を行う場合には、補助制度を受けられる。

#### 松江市営住宅条例等の一部改正

- 市営住宅入居時に連帯保証人が不要になる代わりに、入居者には生存確認や様々なトラブルの対応について連絡を取らせていただく緊急連絡先を報告してもらうことを考えている。

予算委員会では、令和2年度当初予算案14件、令和元年度一般会計補正予算2件を審査し、全ての議案を「原案可決」として本会議に報告しました。

### 総括質疑（会派代表質疑の主なもの）

（質）令和2年度一般会計当初予算が昨年に続き1,000億円を超える歳出規模になっていることについて

（答）第2次総合戦略に基づく事業に加え、玉湯統合小学校や松江総合運動公園などの大規模整備事業、国の防災・減災、国土強靱化対策に対応した事業を積極的に計上した。都市構造再編集中支援事業補助金や社会資本整備総合交付金など、国庫補助金を最大限に活用することで、市債の減額につなげている。

（質）人財育成ワーキンググループの成果と今後の取り組みについて

（答）ワーキンググループから5つの事業提案があり、子育てAⅠコンシェルジュ事業について、内閣府と協議を行い、地域少子化対策重点推進交付金を活用して予算化した。今後も、先進事例の調査や財源確保のための国との協議といった経験を積ませて、政策提言が出来る人財を育成していきたい。

（質）ガスの普及促進、営業活動について

（答）マンションなどの大型物件や団地単位の戸建て住宅に対し、既存顧客の継続利用や新規顧客の獲得を目指した営業活動を行っている。しかし、人口減少や他エネルギーへの転換などにより、ここ10年で都市ガスの供給区域内普及率は5.7%減少し、29.5%になっている。

### 議案審査（主な意見）

#### 【一般会計】

- 様々な創意工夫で財源を確保し、昨年以上の1,000億円を超える積極的な予算規模となっている。将来の松江市に対して高い責任感と役割を背負うとともに、国の令和元年度補正予算に呼応してしっかりと市政運営に臨むことをお願いし賛成する。
- 第三子以降の保育料の無料化や子ども医療費助成の対象拡充、子育てAⅠコンシェルジュ事業など、子育て世代の定住化につながる事業を評価し賛成する。
- 大規模災害対策のため、道路・河川の整備事業や地域防災強化事業に取り組む予算であり賛成する。
- 森林環境譲与税が大幅増額で計上されており、今後、計画的に森林整備に取り組むことを期待し賛成する。
- 原交付金の使途が、人件費など経常経費に充てられていること。国のマイナンバーカード普及拡大に従う予算であることなどにより反対する。

#### 【特別会計】

##### 国民健康保険事業特別会計

- 安定的な国保事業会計の運営に取り組むとともに、人間ドックの自己負担軽減や禁煙外来治療費への助成など保健事業を拡充し、市民の健康維持に向けた取り組みで医療費を抑制する姿勢を評価し賛成する。
- 基金は人間ドックの自己負担の補助だけでなく、均等割の減免や医療費窓口負担の軽減にも使うべきであり反対する。

##### 後期高齢者医療保険事業特別会計

- 75歳以上になると独立した保険に加入することになり、重い負担になっている。保険料を滞納すると短期証が発行され、差し押さえも行われている。本来の老人保健制度に戻すべきであり反対する。

##### 介護保険事業特別会計

- 保険料は、介護保険スタート時の2倍以上となっている。未納者が増え、差し押さえも大幅に増えている事態を解消するためには基金の取り崩しや一般会計からの繰り入れを行うべきであり反対する。

##### 企業団地事業特別会計

- 販売単価の引き下げによる販売促進策を示し、未売却地の販売につなげ、地元の雇用促進につながる取り組みをお願いし賛成する。

#### 【公営企業会計】

##### 水道事業会計

- 安心で安定的に供給するライフラインを維持するため、管路更新について着実に取り組み、有収水量の減少に対応するとともに、事務のIT化や包括委託等も進めるなどの改革努力を評価し賛成する。
- 給水停止世帯が一時的であっても300世帯以上あり、高い水道料の引き下げを求めて反対する。

##### 病院事業会計

- 人材定着策についてマネジメントを行い、高度急性期病院としての役割を担うとともに、手厚い看護ケア体制をとることで、医業収益の増加により医業費用の増加を賄う適切な事業計画であり賛成する。
- 時間外選定療養費と初診時選定療養費の徴収は、市民が安心してかけられる自治体病院の姿勢に反する対応であり反対する。

## 予算委員会各分科会での質疑（主なもの）

総務分科会 ( $\frac{3}{6}$ ・ $\frac{3}{9}$ )	《一般会計》	
	●質疑のあった項目	①会計年度任用職員 ②ジオパーク推進 ③ふるさと納税 ほか
	●執行部の答弁	①正規職員と同様の給料表を使用し、職務内容や職責も踏まえ、国のマニュアルに沿った形で制度設計をしている。現在、勤務されている臨時・嘱託職員の95%以上が新制度に移行する。 ②令和3年度に再認定を控えている。PR不足が否めない面があるので認知度を高めていきたい。10月には本市で全国大会が開催される予定である。 ③松江市民が他都市にふるさと納税を行う件数が増えている。必要経費を一定額確保しながら、本市へのふるさと納税を増やしていく努力をしていきたい。
教育民生分科会 ( $\frac{3}{10}$ ・ $\frac{3}{11}$ )	《一般会計補正》	
	●質疑のあった項目	①GIGAスクール構想 ほか
	●執行部の答弁	①ICT活用教育推進の環境整備5カ年計画に基づく補助事業で令和5年度までにタブレット端末、ネットワークなどを全ての市立小・中・義務教育学校に整備していく。
	《一般会計》	
	●質疑のあった項目	①民間児童クラブの利用料減免 ②新型コロナウイルス感染症対策 ほか
	●執行部の答弁	①民間の児童クラブは、柔軟な保育時間で実施しているが、利用料の減免がないため、経済的負担感がある。来年度から民間児童クラブの利用料の減免支援を実施する。 ②社会福祉施設等に在庫のマスクを配布した。各施設のご意見を伺い、支援策を検討し、補正予算で対応する。
	《病院事業会計》	
	●質疑のあった項目	①病院給食委託から直営への変更効果 ほか
	●執行部の答弁	①直営で一体的に行うことでより良い食事を提供し、地産地消を推進し、充実した給食提供体制にしたい。
経済分科会 ( $\frac{3}{12}$ ・ $\frac{3}{13}$ )	《一般会計》	
	●質疑のあった項目	①新型コロナウイルス関連の市内経済への対策 ②農業用ため池 ほか
	●執行部の答弁	①国の経済対策を受け、商工会議所・商工会連携協議会の要望に対して、市として実効性の高いものを迅速に打ち出す。 ②来年度は10カ所を廃止する。大規模改修は2カ所、小規模改修は4カ所を予定。
	《ガス事業会計》	
	●質疑のあった項目	①特殊勤務手当 ほか
	●執行部の答弁	①特殊勤務手当を業務に携わる職員に出すことは基本原則であるが、実態を把握したうえで、見直すべきものは見直す。
	《交通事業会計》	
	●質疑のあった項目	①日ノ丸バス運休への交通局としての対応 ほか
	●執行部の答弁	①運休対応は困難であるが、公共交通を基軸とした計画等も踏まえ、バス需要を見極めながら考える。
建設環境分科会 ( $\frac{3}{16}$ ・ $\frac{3}{17}$ )	《一般会計》	
	●質疑のあった項目	①環境基本計画の改定、並びに計画推進 ②子どもたちが遊びたくなくなる公園づくり事業 ③子どもたちを守る交通安全対策事業 ほか
	●執行部の答弁	①来年度に改定する計画は期間を5年間とする。施策とSDGs（持続可能な開発目標）を紐づけして実効性のある計画を作成したい。 ②令和2年度から使用禁止遊具の修繕を行う費用のほか、湖畔公園のうち白湯公園、岸公園、末次公園の除草を業者委託する費用を計上している。 ③未就学児が日常的に移動する経路等の交通安全対策は令和元年度補正予算と合わせて計61カ所を来年度に実施する。総数は74カ所になっており令和3年度までにすべての対策を行う計画としている。

## 特別委員会報告〈主な調査内容〉

### 新庁舎建設特別委員会 中間報告

(11/1、12/13、1/27、2/17、3/18開催)

主な質疑	執行部の見解
概算事業費が当初見込み額の120億円から150億円になぜ増額になったのか	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本計画時の見積り方法と基本設計時の見積り方法が全く異なり、積み上げ方式により積算した結果、概算事業費が30億円増額となった。</li> <li>躯体工事価格の指数が平成23年に対して令和元年は1.2倍に増加している。また普通作業員の労務単価は平成25年に対して令和元年は1.22倍となっており、事業費120億円を試算した基本計画段階の平成29年頃から急激に増加傾向が見られる。</li> </ul>
特徴的なデザイン(段々状の展望テラス)が建設費を押し上げているのではないか、また箱型とした場合と比較できないか	<ul style="list-style-type: none"> <li>概算コストの比較について大括り試算でテラスを設置することによる事業費の差額は諸経費や消費税込みで約2億8千万円となる。</li> <li>現在の場所は市の各種計画において景観との調和や親水性の向上、さらに賑わいの向上が求められている。展望テラスは現地建て替えであるから生きてくる機能であり、市民交流機能や宍道湖の眺望についてのご要望にお応えするものである。</li> </ul>
国の財政支援制度はどのようなになっているのか	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設等適正管理推進事業債は制度改正され、令和2年度までに実施設計に着手した事業が対象となった。対象事業の22.5%が交付税措置されるため活用しながら事業を進める。</li> </ul>

### 宍道湖・中海問題等対策特別委員会 中間報告

(12/24開催)

#### 大橋川改修に伴うまちづくりについて

大橋川改修に伴うまちづくりについては、「白瀧地区都市再生整備計画」、及び「かわまちづくり計画」により事業を定めて実施することとなっており、各計画の最終案について説明がありました。

委員の質疑に対し、地元市民や地元関係者等による「まちづくり委員会」を設置し、関係機関（ミズベリング松江協議会等）とも連携して取り組むこと。また、松江のまち全体像を俯瞰した図が必要で、全体図や詳しいゾーニングの考え方を早急に整理するとの答弁がありました。

### 島根原子力発電対策特別委員会 中間報告

(2/3、3/17開催)

#### 原子力発電所の新たな検査制度の概要について

原子力規制庁から、原子力発電所の安全性を確認する新たな検査制度の概要について、これまでの問題点を踏まえ、①検査官が、原子力施設に立ち入り、フリーアクセスによる「いつでも」「どこでも」「何にでも」検査を行う②事業者の全ての安全活動に対し、監視・注視して監督を行い、結果としてトラブルに至るような芽を摘んでいく③事業者と規制機関の責任と役割を明確にして、事業者自ら安全確保の水準を向上する取り組みであり、4月1日から運用を開始するとの説明を受けました。

#### 島根原子力発電所 サイトバンカ建物の巡視業務の未実施について

中国電力(株)から、「協力会社に委託しているサイトバンカ建物の巡視業務について、2月16日分を実施していなかった旨の報告を受け、島根原子力規制事務所へ報告を行った。現在、対応本部等を設置し原因究明および再発防止対策を策定している。」との説明を受けました。

その後、巡視業務の内容や項目、中国電力(株)としての受け止め、調査体制などについて委員から質疑を行い、「こうした事案が時々起こり、そのたびに市民は原発に不安を抱く。役員の指導力、危機管理が不足している。」「市民にとっては、原発を運転しているのは中電だ。」などの厳しい指摘を行いました。

# 2月定例会 一般質問

2月定例会では、3月2日から3月4日までの3日間にわたり一般質問を行いました。

質問した議員本人が通告した項目の中から一つ選び、要旨をまとめたものを掲載しています。



もりわき はやと  
**森脇 勇人** (松政クラブ)

会派代表質問

- 国の地方財政対策の影響について
- 税制改正について
- 新型コロナウイルス対策について
- 松江市の将来構想について
- 教育問題について
- 道路事業について

## 質問 影響額と展開する事業を伺う

国に於いては地方法人課税の偏在性是正措置により基準財政需要額の算定項目に新たに4200億円程度の「地域社会再生事業費」が創設された。市町村分は2100億円程度と伺うが、松江市の影響額と展開される事業を伺う。

## 回答 影響額は2億円、128事業を積極的に展開

県・市の法人住民税法人税割の税率が引き下げられ替わりに国の地方法人税率が引き上げられた。あわせて市町村分の減収補てん措置として、都道府県の法人事業税の一部を市町村に交付する法人事業税交付金が創設された。また、不交付団体である東京都から法人事業税を国が吸い上げ、他の道府県に譲与する制度が創設された。この措置により「地域社会再生事業費」が創設され、松江市の影響額は2億円と見込んでおり第2次総合戦略128事業を積極的に展開したい。



やなぎ はら おさむ  
**柳原 治** (松政クラブ)

会派代表質問

- 令和のまちづくりについて
- 企業団地未分譲地について
- 松江北道路について
- 市長の海外視察の成果について
- 文化行政について
- 観光施設について

## 質問 長江干拓地の現状を鑑み土地利用の考えを伺う

長江干拓地の現状を鑑み、大胆なまちづくりへの挑戦の一つとして土地利用の考えを伺う。

## 回答 将来的な土地利用について、地元を含めて検討する必要もあると考える

長江干拓地は、昭和42年度52haが整備された農地であり、現在20haは公共施設用地として利用され、畑地転換農地が26ha、水田が6haとなっている。この残った農地32haは過去に公共投資が行われ連担性もあることから農用区域に指定しており、他地域からの農業法人の受け入れ等を含めて、まずは農業振興の方策を探ることが重要である。造成から50年余が経過し、畑地転換された土地の中に耕作放棄地も存在する状況、農地が海面より低いための災害性もあることから、将来的な土地利用について地元を含めて検討する必要もあると考える。



なんば いわお  
**南波 巖** (真政クラブ)

会派代表質問

- 新年度予算 ● 観光振興 ● 地産地消
- 中尾地区計画 ● 道路老朽化対策
- 新型コロナウイルス ● 児童虐待
- 松江北道路の事業推進 ● 行革と組織
- 松江大橋と新大橋間のまちづくり
- 技術士取得 ● 技術職員の確保策
- 島根大学裏道路の早期改善 ● 消防団
- 川津が魅力ある地域になるために

## 質問 境港出雲道路整備促進松江市議会議員連盟は松江北道路の早期着手を求める

議連として会長の私と副会長柳原議員、幹事長の川島議員で島根県知事丸山たつや知事と面会し早期着手の要望書を手渡し説明をした。松江市として、早期事業着手に対する考え方と今後の取り組みを伺う。

## 回答 島根県、松江市が一体で取り組む

関係する地域からいただいた、要望意見に対して、県・市一体となり、丁寧に話し、取り組んでいきたい。



はせがわしゅうじ  
**長谷川修二** (公明クラブ)

会派代表質問

- 新型コロナウイルスへの対応について
- 水俣条約への対応について
- 教育環境向上について
- 避難所等における誤嚥について
- 企業による子育て世帯応援策について
- 選ばれるまちになるために

## 質問 市内の水銀灯を速やかかつ計画的にLED照明化すべきと思うが

水銀の使用を禁止する水俣条約の批准やそれに伴う各法律により、2020年12月31日で高圧水銀ランプの製造や輸出入が禁止されるが、市内にある水銀灯を速やかかつ計画的にLED照明化すべきと思うがいかがか。

## 回答 トータルコストを試算し速やかにLED照明化の計画を策定する

水俣条約で規制対象となる水銀灯は市内公共施設には3,729灯あるが、これをLED照明化するには概算で7億から8億円の経費が掛かる。一方で電気料金やメンテナンスコストの抑制などのメリットも期待できる。

工事費や維持管理費の削減額などのトータルコストを試算し速やかにLED照明化の計画を策定する。



つ も り  
津 森 良 治

会派代表質問  
(市民クラブ)

- 終活支援について
- ネット依存・ゲーム障がいについて**
- 中海の活用と周辺地域の振興について
- ガス局民営化の進め方について

**質問** 本市の子どもたちのスマートフォン所持率、ネット依存傾向の実態把握を

スマートフォンなどを使ったオンラインゲームがやめられず、日常生活に長く支障を来している状況について、WHOが作成している国際疾病分類の改訂に伴い、ゲーム障がいとして追加されることになった。本市の子どもたちの依存傾向、所持率について、その現状を伺うとともに、詳細な調査を行うべきではないのか。

**回答** 保護者を対象にメディアに関するアンケート調査を行う予定

本市の子どもたちのネット依存についての詳細を把握できていない状況。また所持率については、3年前の調査で小学校5・6年生が約40%だった。現在は所持率が増加していると予想される。そこで、これらの点について今年6月に保護者を対象としたメディアに関するアンケート調査を実施し、その実態把握を行う予定。



た な か  
田 中 肇

会派代表質問  
(共産党市議団)

- 市長の政治姿勢について
- 新型コロナウイルス対策について
- 市ガス事業の民営化について
- 堀川遊覧船について
- 原子力発電について**
- 教育について

**質問** 虚偽報告書発覚の中国電力に原発を管理運営する資格はない。見解を問う。

2月19日、中国電力は放射性廃棄物一時保管建物（サイトバンカ）の巡視に関する虚偽報告書が提出されていたと発表した。これまでの相次ぐ不祥事に加えての今回の事態から、中国電力に原発を管理運営する資格はないと考える。見解を問う。

**回答** 非常に遺憾。中国電力は再発防止を。市も立ち入り調査などで確認する。

本事案は、協力会社の作業員が、巡視業務を実施していないにもかかわらず実施したと虚偽の報告をしたもので、非常に遺憾なことと考える。

中国電力は深刻に受け止め、再発防止に努めてもらいたい。今後、中国電力の再発防止対策が定まった段階で、市としても立ち入り調査などによりしっかりと確認していきたい。



み し ま  
三 島 伸 夫

(松政クラブ)

- 市税について
- 公共交通（路線バス）について**



**質問** 日ノ丸自動車の米子－松江路線の廃止について

現在米子－松江間を1日10往復20便運行している日ノ丸自動車の「松江線」の廃止が決定された。原因は運転手不足、乗降客の減少、収支の悪化である。この路線は年間12万人が利用し、そのうち松江市の通学・通勤客が70%を占め、障がいのある方も多く利用されている。特に路線バスのなくなる東出雲地区に大きな影響があり、路線廃止の経緯と代替バスの運行について伺う。

**回答** 本年9月末をもって路線が廃止されるが、代替の安来－竹矢を考えている

日ノ丸自動車から昨年9月に路線廃止の文書を受け、安来市とともに再三路線存続を要請したが、運転手不足の解決策は見えず、今年9月末をもって廃止が決定した。代替は荒島駅から竹矢までを4月より安来のイエローバスの運行で、10月以降は再度の検討が必要となる。



よ ね だ  
米 田 と き こ

(松政クラブ)

- 新型コロナウイルス等による肺炎への対応について
- 健康づくりの視点から魅力あるまちの実現について**
- 入札・指定管理者制度について

**質問** ヘルスツーリズム事業を官民連携して取り組む考えはないか

観光と健康づくり事業を実施する日本ヘルスツーリズム事業を官民連携して取り組む考えはないか伺う。

**回答** 通年的なプランの可能性があり、観光協会が取り組むアイデアである

城下町と宍道湖が織りなす景観や松江の食と温泉などの資源を結び付け、都会地の観光客が求める癒しにも繋がる観光コンテンツであり、滞在型やリピートにもつながる通年的なプランとしての可能性がある。現在、「松江観光の明日を創る検討会議」でも松江城、水の都を磨き上げるビジョンを検討いただいている。新たな観光協会が取り組むべきアイデアとして検討できると考えている。



\*会議録は松江市議会ホームページでご覧いただくことができます。



きたに まい 貴谷 麻以 (真政クラブ)

- 新型コロナウイルスへの対応
- 働きやすさと子育て



**質問** 社会を支える出産や、女性登用の環境整備は

若者の共働きは、保育園等で待機児童が解消されないという困難である。また男性の主体的な出産・育児参加による男女差別感の解消、子育てに関する松江市独自の取り組み、女性の管理職登用による環境整備について聞く。

**回答** 共働きでも育児がしやすい社会づくり

待機児童の数は年々減少している。小規模幼稚園の統廃合や幼保一元化、保育施設の増改築・三次募集も進めていく。市独自の取り組みには産前産後の支援充実、子育て支援コーディネーターの配置、LINEによる24時間相談等がある。男性職員の妻の出産補助休暇取得者は29人、夫の育児参加休暇取得者は6人。サポートできる環境整備をすすめることは極めて大切なことだと思っている。女性管理職は令和2年度末までに20%にすることを目標値と掲げている。



はたお こうせい 畑尾 幸生 (市民クラブ)

- 医療
- 介護
- 松江市ガス事業経営検討(検証)委員会
- 国連「家族農業の10年」に関して—農業振興地域整備計画条例—

**質問** 公的病院の再編についてどう考えているのか

松江圏域では急性期病床について、2017年度の1,426床を404床減らし1,022床にする案が示されている。圏域の急性期病床数の調整について地域で今後どのように検討するのか。

**回答** 2025年度に404床減らす案は目安であり、引き続き地域で論議する

高度急性期や急性期の病床機能は、回復期など他の病床機能と連携して、入院期間の短縮など効率的な病床運用が図られ、結果として病床数の減少につながるものと考えている。今回示された案はあくまで目安であり、引き続き、松江地域医療構想調整会議において、地域の医療需要を踏まえた議論を通じて検討されると考えている。



おおた さとし 太田 哲 (公明クラブ)

- SDGsと第2次総合戦略について
- 都市(児童)公園と公園愛護団について
- 就職氷河期世代の支援について

**質問** 職員のSDGsの研修状況及び市民への周知はどのようにするのか

SDGsの理念である「誰も置き去りにしない社会を目指す」このことは公明党が目指す生命尊厳、人間主義の精神と共通しており、私共も積極的に取り組んでいく。第2次総合戦略にSDGsの理念を取り入れているが職員の研修、市民への周知はどのようにされるのか。

**回答** 第2次総合戦略を進めるなかでSDGsの理念等職員、市民に周知する

SDGsの研修会は実施していない。第2次総合戦略を進めるなかで、SDGsの理念や目標実現に向けた施策を職員はもとより、市民に広く周知をする。

地域おこし協力隊で「SDGs de 地方創生公認ファシリテーターの取得者」がおられ、相談し検討していく。

また自治体職員向け研修でSDGsの手法を学ぶ研修会が計画されており参加し理解を深めていきたい。



よしぎ けいこ 吉儀 敬子 (共産党市議団)

- 文化を核とするまちづくりについて
- 電磁波対策について
- 日ノ丸バス路線廃止について
- 東出雲公民館と複合施設建設について

**質問** 菅田庵の国宝化と出雲民芸紙をはじめとする工芸(手仕事文化)の支援を

市は、第2次総合戦略に「文化を核とするまちづくり」を掲げた。菅田庵は、不昧公が建設し御風呂屋を備え建設当時の場所にあり、大きな価値を持つ。国宝化を目指すべきではないか。出雲民芸紙をはじめとする工芸「手仕事文化」の支援として、新庁舎に展示スペースを設け、市民の目に触れる機会をつくるべきではないか。

**回答** 菅田庵の価値づけに努め、新庁舎に伝統的素材・技法を活用する

国宝化は、様々な調査が必要であり所有者の協力を得て、さらに菅田庵の価値づけに努める。出雲民芸紙は、ミツマタ栽培支援・幹部の名刺・学校教育で取り上げる。新庁舎には、松江の歴史・文化を感じていただけるよう松江らしい伝統工芸素材・技法を積極的に活用する。

\*会議録は松江市議会ホームページでご覧いただくことができます。



にい 昌 昌禎 (友愛クラブ)

- 新型コロナウイルス感染症による地域経済への影響と対応
- 創造性を育む教育 ICT 環境実現への取り組み
- **見守り・支え合いの仕組みの強化策 (見守りカメラ等の設置)**

### ICTを活用した見守りカメラ等の

#### 質問 設置を推進してもらいたい

地域の見守り・支え合いの強化策として、近年、ICTを活用した見守りカメラ等の設置が、全国的な広がりを見せている。カメラの設置は、高齢者や障がいのある人の見守りだけでなく、子ども達の見守りサービスとしても有効である。是非、先進地の事例を検証し、安心・安全の取り組みを推進してもらいたい。

#### 個人情報などの課題もあり、

#### 回答 他市の事例を研究したいと考えている

見守り・支え合いの仕組みの一環として、自治体でICTによる見守りカメラを設置している事例がある。リアルタイムに居場所などの状況を把握できることや、移動履歴などの記録を残せるなどのメリットがある。一方で、個人情報などの課題があるので、他市の事例などを研究したいと考えている。



かわうち だいすけ 大輔 (松政クラブ)

- 情報発信について
- 学校教育について
- 子育てについて
- **市立病院について**
- まちづくりについて
- スポーツ推進計画について
- トイレ整備計画について

### 定年までやりがいを持って働けるよう

#### 質問 職員満足度を高めていく事が重要

看護師の辞職者が増加している。数ある医療機関の中から、松江市立病院を選んで就職していただいた看護師の方に、定年までやりがいを持って働いていただけるよう、職員満足度を高めていく事が重要だ。職員アンケートの実施や、そのアンケートを基にした満足度向上策の取り組みが必要。

#### 回答 今後、十分な対応を図っていく

看護師の辞職者が増えている事については非常に問題視をしており、意思疎通が図れるような現場環境が必要だと考えている。看護局が中心となり、直接の対話が図れるように今後十分な対応を図っていく。その中でも、アンケートは一つの方法と考えている。



たなか あきこ 明子 (公明クラブ)

- **人口減少対策について**
- 災害対策について
- 学校保健安全法施行規則について

### 地域おこし協力隊の実績と取り組み状況、今後の課題があれば伺う

松江市における地域おこし協力隊員について、受け入れ状況を男女別に人数と定住率を伺う。また、これまでの実績と取り組みの状況を伺うとともに、活動をどう評価し、課題があれば伺いたい。

#### 市と連携し数多くの事業を行い、

#### 回答 地域と協働し地域の活性化に寄与

これまでに男性6名、女性10名の16名を受け入れ、定住率は75%。全国平均62.8%、鳥根県53.3%からすると極めて松江市の定住率は高い。この理由は、最初から定住するために何を指すのか考えていただき、それを支援する伴走型をした結果だと思う。八束町の農泊事業やゴールデンパームメロンを使用した新商品開発、市民の健康づくりイベント開催、鳥獣被害対策など市や地域と協働で行っている。今後も伴走しながら支えていく。



しの はら 栄 (公明クラブ)

- 移住・定住の取り組みについて
- **成年後見制度について**
- 教科担任制の導入について

### 成年後見制度の利用計画は如何か

成年後見制度利用促進に関し、中核機関の設置、専門家機関との連携、マッチングや後見人支援はどのように計画されているか伺う。

### 今年度中に第5次地域福祉計画と

#### 回答 一体的に策定する

現在、福祉分野の上位計画、第5次地域福祉計画・地域福祉活動計画の中で制度利用促進計画を一体的に策定している。具体的には、福祉・医療・地域と後見人がチームとしてかわる体制づくりや法律などの専門職機関がそのチームを支援する地域連携ネットワークを構築する。このネットワークのコーディネイト役として中核機関を設置し、広報、利用相談、後見人支援など5つの機能を計画的に整備する。その中の利用促進機能では専門職等で構成する受任調整会議を設置し、適切な後見人の選任に努めていく。

\*会議録は松江市議会ホームページでご覧いただくことができます。



たかはし よしあき  
**橘 祥朗** (共産党市議団)

- 国民健康保険について
- 東京一極集中について
- ガス局労使問題について
- 原発問題について
- そば対策について
- 児童虐待・松江の現状について
- C-2部品落下問題について

**質問 国保料、子どもの均等割除外を**

協会けんぽに比較して負担割合の大きい国保料の減額を求める声は多い。国保会計の基金額は類似市と比較して高額ではないか、基金の原資は市民の納めた国保料であり、取り崩して減額を。子育て支援の観点から、子どもを均等割から除外する市町村が増えている。国に働きかけるとともに、市独自の施策として検討すべき。必要な予算は約6千万円、不可能な額ではない。

**回答 支援制度創設を国に提言、県でも協議**

基金残高は、平成30年度末の比較で類似市20市の平均は11.9億円、松江市は6番目の18億円。人間ドック受診費用助成増額や医療費の抑制につながる事業に取り組む。子どもの均等割については、「子どもに係る均等割保険料を軽減する支援制度」を、市長会などで国に求めている。また、県に国保も移管されたので、減免等の統一基準を求め、市町村の協議の場で検討する。



ほそぎ あけみ  
**細木 明美** (松政クラブ)

- 島根原子力発電所について
- グレードの高いホテルの誘致について
- 相次ぐ北朝鮮のものとされる船の漂着について

**島根2号機再稼働へのキーワードは**

**質問 何なのか**

島根2号機の審査会合は順調に回を重ね、既に中盤から終盤に入ってきたと言えそうな状況である。規制委員会による適合性審査完了後、松江市が再稼働という結論を出すには何がキーワードになるか市長の考えを伺う。

**「安心・安全」そしてその認識が**

**回答 どこまで徹底しているか確認が必要**

島根1、2号機が停止してから10年以上経過し、現場で稼働を経験していない方が4割以上を占め、年々増えていくことになる。そうした方がいきなり再稼働に対応しきれるのか。また、先日のサイドバンカ問題や以前の点検不備問題など、安全文化の醸成ということで今までやってこられたが、こうした事象が起こると努力も水の泡になる。安全・安心に対しての認識がどこまで徹底しているか確認していく必要がある。



たくの けんじ  
**宅野 賢治** (友愛クラブ)

- 放課後児童クラブについて
- 松江市の電子行政のプラットフォーム構築について
- 交通系ICカード導入について

**島根県の放課後児童クラブへの**

**質問 財政支援拡充策をどう捉えているのか**

放課後児童クラブの設置及び運営は、子ども子育て3法の児童福祉法改正により、国が定めた基準を踏まえ市町村が条例で定めており、利用時間延長などの利用方法は、実施主体の市町村判断となる。島根県の放課後児童クラブへの財政支援拡充策などをどう捉えているのか。

**県は、各市町村の地域実情を把握して**

**回答 補助制度あるいは交付金を検討すべき**

放課後児童クラブ事業は、各市町村が必要な事項を定めて実施している。県の支援拡充策は、まず時間をかけて各自治体の地域実情を把握した上で実施されるべきであり、全市町村に共通するような事柄への補助制度、あるいは使い道を決めない自由に使える交付金を検討して頂きたい。

**6月定例会日程**

月	日	曜日	会議名
6	10	水	本会議(会期の決定、提案説明)
	15	月	本会議(一般質問)
	16	火	本会議(一般質問)
	17	水	本会議(一般質問、議案質疑、委員会付託)
	18	木	総務委員会・予算委員会総務分科会
	19	金	教育民生委員会・予算委員会教育民生分科会
	22	月	経済委員会・予算委員会経済分科会 建設環境委員会現地視察
	23	火	建設環境委員会・予算委員会建設環境分科会
	26	金	予算委員会(分科会長報告・質疑、討論、採決)
	30	火	本会議(委員長報告・質疑、討論、採決)

議会事務局 TEL 55-5432

**市議会は傍聴することができます**

午前10時から開催します。また、午後もし引き続き開催する場合は、休憩をはさみ、おおむね午後1時から再開します。議事の進行等により時間が前後する場合がありますので、詳しくは当日お問い合わせください。

※会議録は松江市議会ホームページでご覧いただくことができます。

## ■松江市消防団幹部 14名（松江消防団長、各副団長（3名）、各方面団長（10名））

～松江消防団が抱える課題、展望について～

### 1 寄せられた主な意見

- ・現在、消防団員の定員充足率は92%となっているものの、松江橋北方面団を除いては人口減少・高齢化の進展に伴い団員の確保に大変苦慮しているのが実態である。消防団組織の維持継続自体が難しいと考えている地域もあり、人材確保や育成策が大きな課題となっている。また、消防機材の老朽化が進むと共に消防機庫の返還問題なども発生している。活動を支える設備環境が不十分であることを踏まえ、現在、消防団に関する検討委員会を設置し、班編成、機材、機庫などのあり方について検討を行っている。
- ・消防団は「消火」だけでなく「防災」の役割を担うようになってきており、地域の防災力向上への貢献も求められている。そのためにも消防団員の資質向上や知見を広めることが重要だと認識している。
- ・将来の地域を支える人材育成のため、各地域の小学校に出向き消防に関する理解促進活動に努めている。子どもたちも熱心に取り組んでくれているので、教育委員会と連携して引き続き体験型の学習活動に取り組んでいきたい。

### 2 意見交換会を終えて

- ・松江市消防団は、まさに松江市の安全・安心の要であること、現状、人的・物的に多くの課題を抱えている中であっても団員の旺盛な使命感に支えられ活動が行われていること、防災の地域リーダーとしての役割を果たすため資質向上、知見を広めることに大変意欲的であることが理解できた。
- ・議会としては、防災の取り組みは、消防本部・消防団はもとより、企業、地域住民が一体となった相互の連携が重要であることから、防災制度の拡充、防災意識の向上に向けた行政の主導的な取り組み、さらには消防団員の報酬を含めた待遇改善に対する財政支援について、行政への積極的な働きかけの必要性を痛感した。



<消防団の抱える課題について意見交換>

## ■松江市医師会 11名

①准看護学校の運営 ②在宅医療 ③がん検診 ④学校医 ⑤禁煙治療 ⑥糖尿病等生活習慣病予防 など

- ①准看護学生は減少傾向であるが、卒業生の7割が市内に就職している。人口減少社会で、看護職が不足する中、定住の促進に貢献している。今後も、行政の支援継続を希望する。
- ②高齢化が進み独居世帯が増えるとともに、公共交通機関も減ってきており、不便になっている。かかりつけ医制度や看取り等の在宅医療の推進については、啓発不足である。
- ③受診率がまだまだ低い状況であり、啓発不足である。肺がん検診にCT検査などを導入してはどうか。
- ④児童生徒は減少しているが、学校医の業務内容は広く、負担感もあり、報酬も低いいため学校医が不足している。
- ⑤禁煙補助金は、国保加入者だけでなく市民全員が対象となるような制度設計が必要である。
- ⑥透析に至らないよう、重症化予防が重要である。



<挨拶をされる松江市医師会の泉会長>

【(第1部) 松江商工会議所青年部・松江青年会議所、まつえ北・まつえ南・東出雲町の各商工会の青年部 (18名)

Aグループ…まつえ北・まつえ南・東出雲町の各商工会の青年部 (8名)

Bグループ…松江商工会議所青年部・松江青年会議所 (10名)

Aグループの主な意見は、美保関灯台周辺の駐車場不足や美保神社のトイレ不足、鹿島町内の空き地・空き家の解消への補助制度、美保関地区から県・市を跨いでタクシー利用時のルールの改善、美保関地区や玉湯地区からの路線バスの減便対策、事業承継や新規就労者向けの動画配信「S-c t」や「ぎゅっと松江」の利活用、東出雲地区への大型施設の誘致や県道揖屋馬淵線の進捗状況、山陰・伯備新幹線の早期の整備路線格上げなどがあった。

Bグループの主な意見は、大橋川の改修と地元経済への波及効果、市役所に意見が通る仕組みが欲しい、市の広報やパブリックコメントの強化を望む声、外国人の誘客や外貨獲得などのインバウンド対策、働き方改革の対策などがあった。



<第1部：商工観光業の振興について意見交換>

【(第2部) 松江市認定農業者協議会 (6名)

主な意見は、畑地の農地利用奨励制度の検討について、農地集積や小規模農家への支援では、農業機械の補助制度、更新への助成制度、イノシシなどの有害鳥獣対策、米やそば以外の特産品の開発、償却資産への課税取り扱いなどがあった。

第1部・第2部に共通した意見として、「今後も定期的にこのような意見交換会を開催してほしい。松江市行政との橋渡しをして頂ける議会であって欲しい。」との要望を受けた。

【島根県宅地建物取引業協会 (7名)、全日本不動産協会島根県本部 (4名)

近年地方自治体が抱える共通の課題である空き家対策について、不動産を取り扱う業界団体と、空き家の現状や課題の把握を中心に意見交換を行った。

空き家の利便性をどう図っていくかだけでなく、そのエリアをどう住みやすくしていくかということを連動させて考えていくことが大切である。地域の特性なども調査し、エリアにあった対策を考えていく事が大切であり、効果があるのではないかと感じる。空き家バンクの窓口は松江市であるが、不動産業者と行政の連携が取れていないように感じる。業界と行政の空き家バンクの一体化ができないか等、多くのご意見や質問をいただいた。



<空き家の現状や課題について意見交換>

## 〔執行部からの説明〕

平成27年10月に制定した、松江市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（第1次総合戦略）が5年の期間を終了し、これまでの成果を踏まえ令和2年度からスタートする第2次総合戦略の策定を進めてきた。第2次総合戦略では第1次総合戦略に掲げた年間の出生数2,000人、社会増270人を引き継ぎ、2060年に松江市の人口を18万人確保することを目標とする。

その取り組みの柱として、5つの基本目標と13のプロジェクトに取り組み、具体的な163事業を掲げた。

それらに加え重点かつ横断的な目標として「若者・女性がもっと暮らしやすいまち」を掲げ全庁一体となって取り組む。また、Society5.0の推進、SDGsの理念を取り入れ地方創生を推進する。

## 〔議員の意見〕

- ・ 地方創生拠点整備交付金を使用して観光施設や産業施設の改修が必要。
- ・ 出会いの場の創出事業についてももう一步踏み込むべきである。
- ・ 国の重点施策である起業・創業支援充実事業の相談窓口の整備が必要である。
- ・ 中小企業・小規模事業者の後継者の人材育成、事業継承をしっかりサポートしてほしい。
- ・ 官民連携の「ローカル10000プロジェクト」を利用した、地域活性化事業の推進。
- ・ 交通政策の必要性。特にJRの駅の活用とまちづくりの推進が必要である。
- ・ 新幹線の必要性を市民に広めるべきである。
- ・ 松江工芸品の価値を引き出す仕組みづくり（新規）を高く評価する。
- ・ 消費者市民社会の形成は松江市の魅力の1つとなるのでこの中に含んでほしい。
- ・ 女性の視点に立った分析、情報収集やそれに対する政策を実施してほしい。
- ・ 外国人労働者の規制緩和への対応。
- ・ 人口減少による公共サービスの低下の分析もして、対策を検討する。

また、同時に松江市国土強靱化地域計画と第3次松江市行財政改革大綱策定方針の説明も受けました。

第2次総合戦略の詳細については  
松江市HPをご覧ください。



松江市まち・ひと・しごと創生  
人口ビジョン・総合戦略

## 目指す松江市のまちづくり 松江の魅力をもつ「都市デザイン」

1月23日、「人口減少時代のまちづくり」を演題に、松江市議会議員研修会を開催しました。講師として「平成の開府元年ーまちづくり構想」策定時にご指導いただいた豊橋技術科学大学学長・東京大学名誉教授の大西 隆氏を招き、目指す松江市のまちづくりについて講演を受けました。

都市計画の基本的な仕組みと都市計画法の改正内容やこれまでの松江市における都市計画（線引き制度）議論を振り返り、線引き制度については、何のための土地利用規制なのかを視点に、地域にあったまちづくりを進める必要がある。人口減少時代に目指す松江のまちづくりとしては、「世界市場で注目を集める松江発の新製品開発、新しい息吹が吹き込まれる『松江の伝統と文化』、街並みの統一感に古くからの自然景観が溶け込んだ都市」など、松江の魅力をもつ「都市デザイン」が示されました。



<松江の都市計画に詳しい 大西 隆 講師>

## 皆様のご意見をお寄せください

いろいろなご意見をいただいております、ありがとうございます。ご意見については、委員会の場で検討させていただきます。

〒690-8540 松江市末次町86

議会広報等委員会(松江市議会事務局)

電話 (0852) 55-5433

ファックス (0852) 55-5533

議会事務局メールアドレス

giji@city.matsue.lg.jp

ホームページアドレス

http://www1.city.matsue.shimane.jp/gikai/



## 編集後記

2月定例会は第2次総合戦略がスタートの予算編成であり全ての基本目標にかかる重点的な目標として「若者・女性がもっと暮らしやすいまち」を位置づけています。

議会だよりにおいても「若者や女性に手にとって読んでもらいたい」との思いで、3年前から表紙は親しみやすい「松江の元気な子どもたち」として担当議員が持ち回りで幼稚園や保育所を訪問し撮影しています。記事においてもさらに工夫しわかりやすく読みやすい、若者や女性に理解して頂けるよう努力してまいります。

議会広報等委員会委員 太田 哲